

行事及び事業の内容例

1 指導目標

- (1) 一人ひとりの気持ちを理解し、様々な場面で褒めたり認めることで、子どもの自己肯定感を高める。
- (2) 自分の考えや気持ちを相手に伝える事ができるように支援し、学童クラブが安心して過ごせる場となるよう努める。
- (3) 基本的な生活習慣の自立に向けて援助、支援する。
- (4) 遊具や共同で使う物の正しい使用方法を伝えていく。子ども自身が危険を認識していけるよう努める。
- (5) 児童が意欲的に学習に取り組める環境作りをし、学習の大切さを伝える。
- (6) 異年齢での生活、遊び、グループ活動、行事などを通して、ルールを守る事の大切さや相手に対する思いやりの心を育てる。

2 日常活動

(1) 遊び

室内では、「ぬりえ」「折り紙」「お絵描き」「カードゲーム」「ジグソーパズル」「トランプ」等で遊ぶ。
 戸外遊びでは、「縄跳び」「サッカー」「ドッジボール」「フラフープ」「鬼ごっこ」等で遊ぶ。

※環境省の暑さ指数をもとに、厳重警戒や危険の場合は室内で過ごし、厳重注意までは安全に気を付けて外遊びを行う。光化学スモッグ情報が発令された際の対応について、学校情報や注意報の時は室内で過ごす。

(2) その他

児童が登所してきた際は、「元気確認」と称して児童一人ひとりに支援員が声がけをし、その日の体調や学校であった事等を聞き取ってコミュニケーションをとるように努めている。

連絡帳は、1冊目を学童で用意した。以降は各自購入としている。再入所児童にも各自購入をお願いしている。毎日登所時に全員が連絡帳を提出、保護者から降所時刻の変更などの記入があった際には職員がサインをする。また、学童クラブでのトラブルや怪我等保護者へ伝えたい事で緊急を要さない場合は連絡帳を活用する。

3 活動内容

月	行事及び活動
4	グループ編成 ・ カップけん玉、ビュンビュンごま等作成
5	避難訓練・季節の制作
6	七夕製作・保護者会(夏休みの制作)
7	食事会
8	夏休み製作(週がわり)・体育館遊び
9	グループ編成
10	季節の製作

月	行事及び活動
11	お店やさんの会
12	食事会
1	グループ編成 干支の絵馬製作
2	卒所制作
3	食事会・進級を祝う会

4 保護者会及び学校との関係

(1) 保護者

夏休み前(6月下旬～7月上旬頃)に保護者会開催、1年間の予定や育成の様子やお願い事項を伝える。
定期的に学童クラブだよりを発行し、行事予定等を連絡する。

(2) 学校

学校便りや学年便りを通して学校の予定を把握し、必要に応じて副校長や担任教諭と情報交換を行い、
児童の現状についての共通理解をする。